

家庭用ヒートポンプ給湯機購入動機・使用満足度調査【2012年11月以降】

〈概要版〉

一般社団法人 日本冷凍空調工業会
ヒートポンプ給湯機委員会

1. 調査の目的

2012年11月以降、家庭用ヒートポンプ給湯機(以下エコキュート)を購入したお客さまを対象にエコキュートに対する購入動機、購入検討時の不安、決め手、使用満足度を調査し、結果を2012年12月実施した調査と比較し、今後の普及促進の可能性について検証することを目的とした。

2. 調査方法

2012年11月～2014年11月にエコキュートを購入した戸建住宅にお住まいの方で、東北、関東、中部、近畿、九州地方合わせて518人にインターネット調査を実施した。

3. 実施時期

2014年12月(調査会社:株式会社マクロミル)

4. 回答者属性

地域:東北 62人 12.0%、関東 124人 23.9%、中部 125人 24.1%、近畿 124人 23.9%、九州 83人 16.0%

性別:男性 241人 46.5%、女性 277人 53.5%

年代:20歳代 13.7%、30歳代 32.3%、40歳代 23.4%、50歳代 16.8%、60歳代～13.9%

5. 調査結果

5-1 結果の概要

今回の調査では以下の6項目が明らかになった。

- (1)購入背景は「新築で付いてきた」人が22%であり、残り78%の人がエコキュートを意図して購入していた。2年前の調査も今回も約8割の人がエコキュートを自発的に購入していることがわかった。
- (2)購入のきっかけは「オール電化にしたから」61%、「販売店の勧め」21%、「故障・老朽化」16%の順に多かった。オール電化住宅にしたことが購入のきっかけとなった人は2年前も今回もほぼ6割であった。
- (3)購入の決め手は「光熱費が安くなる」57%、「オール電化にしたい」51%、「火の気がなく安心」29%が3大決め手であった。
- (4)購入後の満足度は「満足」40%、「やや満足」56%で、計96%の人が満足していると答えた。エコキュートに対する満足度は2年前に比べ大きな変化はなく引き続き非常に高いことがわかった。
- (5)非常時や災害時にエコキュートが役立つことについては、「停電時でもタンクのお湯が使用できる」ことを「知っている」人は半数以上の61%であった。「断水時に非常用水として利用できること」を「知っている」人は57%であった。「都市ガスと電気では電気の方が復旧が早かった」ことを「知っている」人は43%と半数を下回った。
- (6)家族人数とタンク容量の関係を調査したところ、少人数家族でも460Lや550Lといった大容量が選ばれるケースが多いことがわかった。

今回の調査で、エコキュートの購入はきっかけの部分でオール電化住宅に支えられていることが再確認できた。今後電化住宅等の更なる普及に伴い、エコキュートも普及の伸びが期待できることがわかった。また、エコキュートの満足度は2年前の調査と同様に今回も95%以上と非常に高かった。特に、購入前に不安があった人でも購入後は概ね満足しており、購入後に不安は解消され、期待通りの製品であると感じていただけていることがわかった。一方、災害時のメリットが認識されていないことや家族人数に対して適正なタンク容量が選ばれていないケースが多いことなどがわかった。

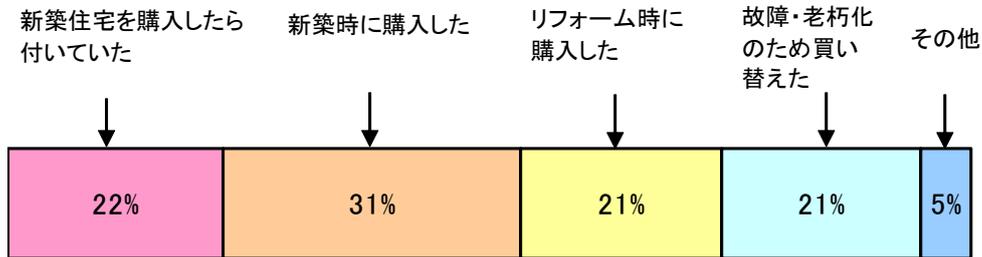
今回の調査結果を元に業界一体となって消費者や販売店に対して引き続き周知活動や啓発活動を行い、エコキュートの更なる普及に貢献していきたい。

5-2.集計結果

※数字は小数点以下第1位を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。
SAは単一回答をMAは複数回答を表します。

Q1エコキュートを導入した背景に最も近いものをひとつお答えください。

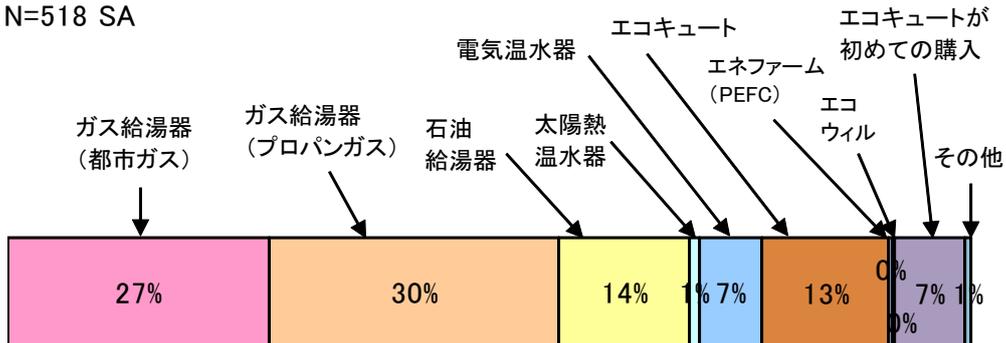
N=518 SA



- 「新築時に購入」31%、「新築に付いていた」22%、「リフォーム時」21%、「故障・老朽化」21%、の順に多かった。
- 新築、既築に分けると、「新築」が53%、「既築(リフォーム)」が47%とほぼ半々であった。
- 「新築に付いていた」22%はお客さまが意図せず購入したものとすると、それ以外の78%は自発的に購入したと考えられる。エコキュートの78%は自発的に購入されていた。

Q2あなたのご家庭でエコキュート導入までに使用していた機器は何ですか。

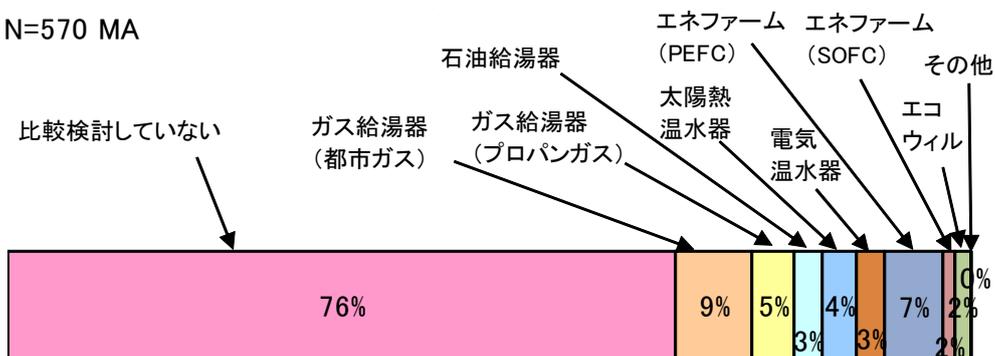
N=518 SA



- 「ガス」57%(内都市ガス27%、LPガス30%)、「石油」14%、「エコキュート」13%の順で多かった。購入前もエコキュートを使用していた人は13%であった。

Q3エコキュートを導入する際に他に比較検討した機器はありましたか。

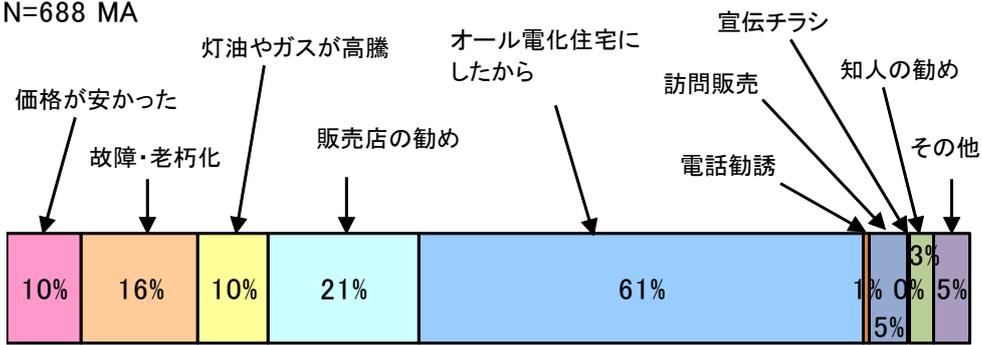
N=570 MA



- 「比較検討していない」76%、「ガス給湯器」14%、「エネファーム」7%、「太陽熱温水器」4%、「石油給湯器」3%、「電気温水器」3%の順に多かった。

Q4あなたが今回エコキュートを購入することを検討したきっかけは何ですか。

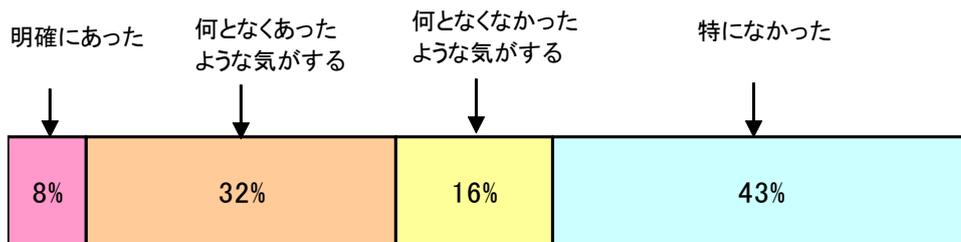
N=688 MA



- 「オール電化にしたから」61%、「販売店の勧め」21%、「故障・老朽化」16%、「灯油ガスの高騰」10%、「価格が安かった」10%、「訪問販売」5%の順に多かった。

Q5エコキュート購入の際、あなたが何か不安に思ったことはありますか。

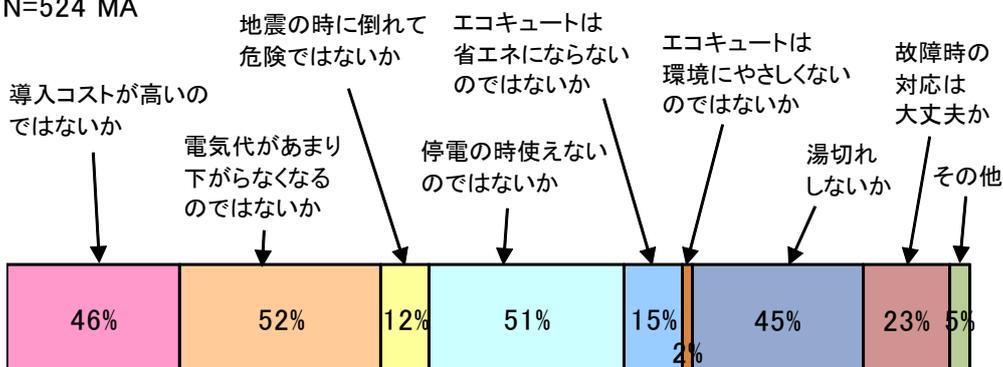
N=518 SA



- 「特になかった」43%、「なんとなくあった」32%、の順であった。「明確にあった」は 8%であった。
- 全体で不安がなかった人は 60%、不安があった人は 40%であった。

Q6Q5で不安があった人のうち、あなたが具体的に不安に思ったことは何ですか。

N=524 MA



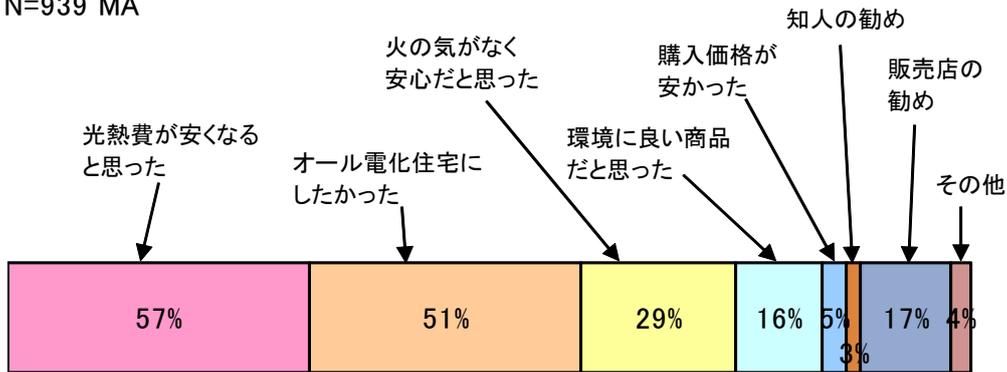
- 「電気代があまり下がらなくなるのではないかと」52%、「停電の時使えないのではないかと」51%、「導入コストが高いのではないかと」46%、「湯切れしないかと」45%、「故障時の対応は大丈夫かと」23%、「エコキュートは省エネにならないのではないかと」15%、「地震の時に倒れて危険ではないかと」12%の順に多かった。
- 「電気代があまり下がらなくなるのではないかと」との不安が多いのは電気料金自体の値上げの影響

も考えられる。

- 「停電の時使えないのではないか」「電気代があまり下がらなくなるのではないか」と従来からのエコキュートに関する根強い不安も見受けられる。
- 「停電の時使えないのではないか」や「湯切れしないか」といった不安は周知活動により解消していく必要がある。

Q7エコキュート購入の決め手は何ですか。

N=939 MA



- 「光熱費が安くなると思った」57%、「オール電化にしたかった」51%、「火の気がなく安心だと思った」29%、「販売店の勧め」17%、「環境に良い商品だと思った」16%の順に多かった。
- 「光熱費が安くなる」、「オール電化にしたい」、「火の気がなく安心」が 3 大決め手であることがわかった。

Q8あなたはエコキュートを購入して満足していますか。

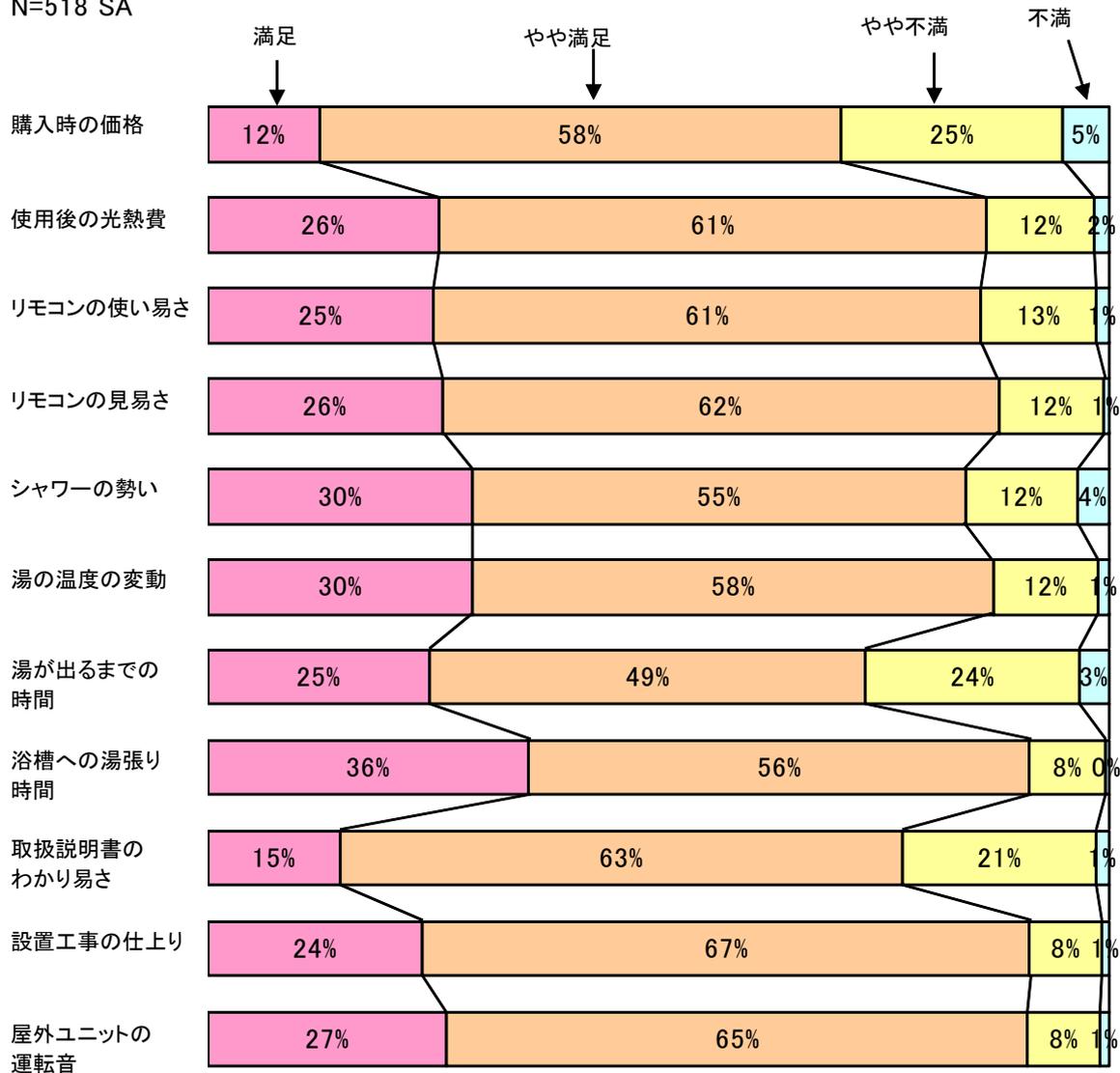
N=518 SA



- 「満足」40%、「やや満足」56%を合わせると 96%の人が満足している。

Q9あなたはエコキュートの下記各ポイントについてどの程度満足していますか。

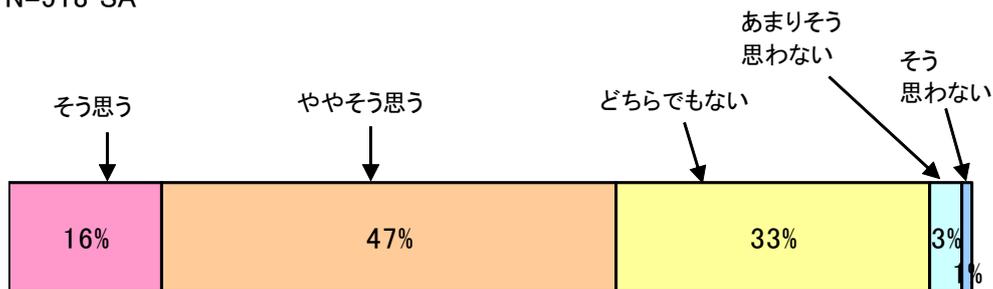
N=518 SA



- 全体として「満足」、「やや満足」が多かったが、Q8 に比べ個々のポイントに分解して聞くと、「やや不満」、「不満」が4%から8%~30%に増えた。
- 特に「購入時の価格」は「満足」12%、「やや満足」58%、計 70%、「湯が出るまでの時間」は「満足」25%、「やや満足」49%、計 74%、「取扱い説明書のわかり易さ」は「満足」15%、「やや満足」は63%、計 78%と他と比べ満足度が若干低いことがわかった。今後の課題である。
- 不満のワースト5は、「購入時の価格」「湯が出るまでの時間」「取扱い説明書のわかり易さ」「シャワーの勢い」「リモコンの使いやすさ」であり、一方でエコキュートで巷間話題となる「屋外ユニットの運転音」「浴槽への湯張り時間」「湯の温度の変動」については、満足度が高い結果となった。

Q10あなたはエコキュートを知人に勧めようと思いますか。

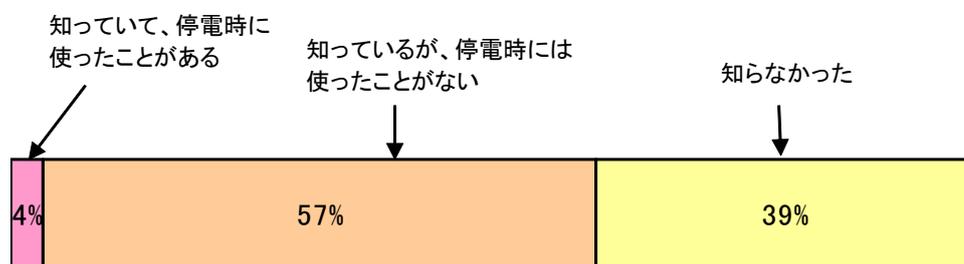
N=518 SA



●「そう思う」16%、「ややそう思う」47%と計 63%の人が知人に勧めようと思っていることがわかった。

Q11エコキュートは、水道が使用できれば停電時でもタンクのお湯が使用できることをご存知でしたか。

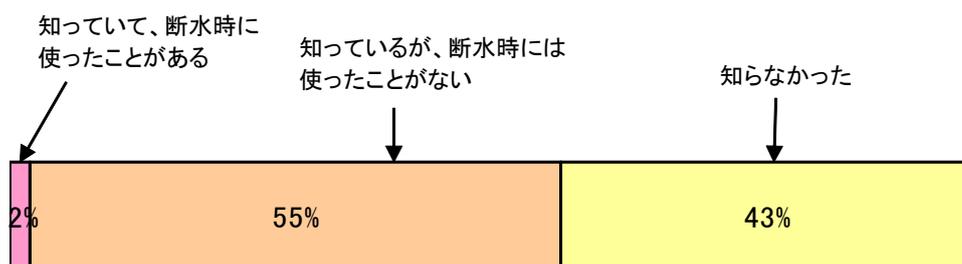
N=518 SA



●「使ったことがある」人は 4%にすぎなかったが「知っている」人は半数以上の 61%であった。しかし 39%の人が「知らなかった」と回答しており、まだ十分には知られているとは言えないことがわかった。

Q12エコキュートのタンクのお湯(水)は、断水時に非常用水として利用できることをご存知でしたか。

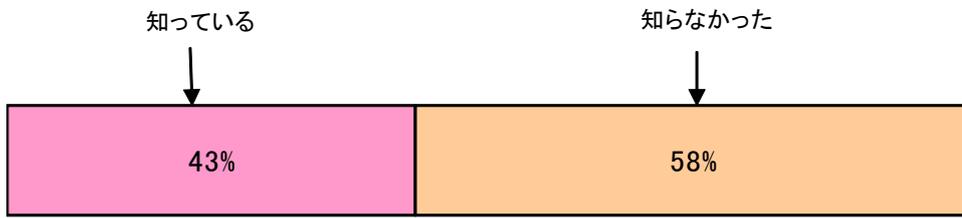
N=518 SA



●「使ったことがある」人は僅か 2%に留まったが、「知っている」人は 57%に上った。しかし、43%の人が「知らなかった」と回答しており、まだ十分には知られているとは言えないことがわかった。

Q13 阪神淡路大震災や新潟県中越地震、東日本大震災では、ほとんどのエリアで、都市ガスと電気では電気の方が復旧が早かったことをご存知ですか。

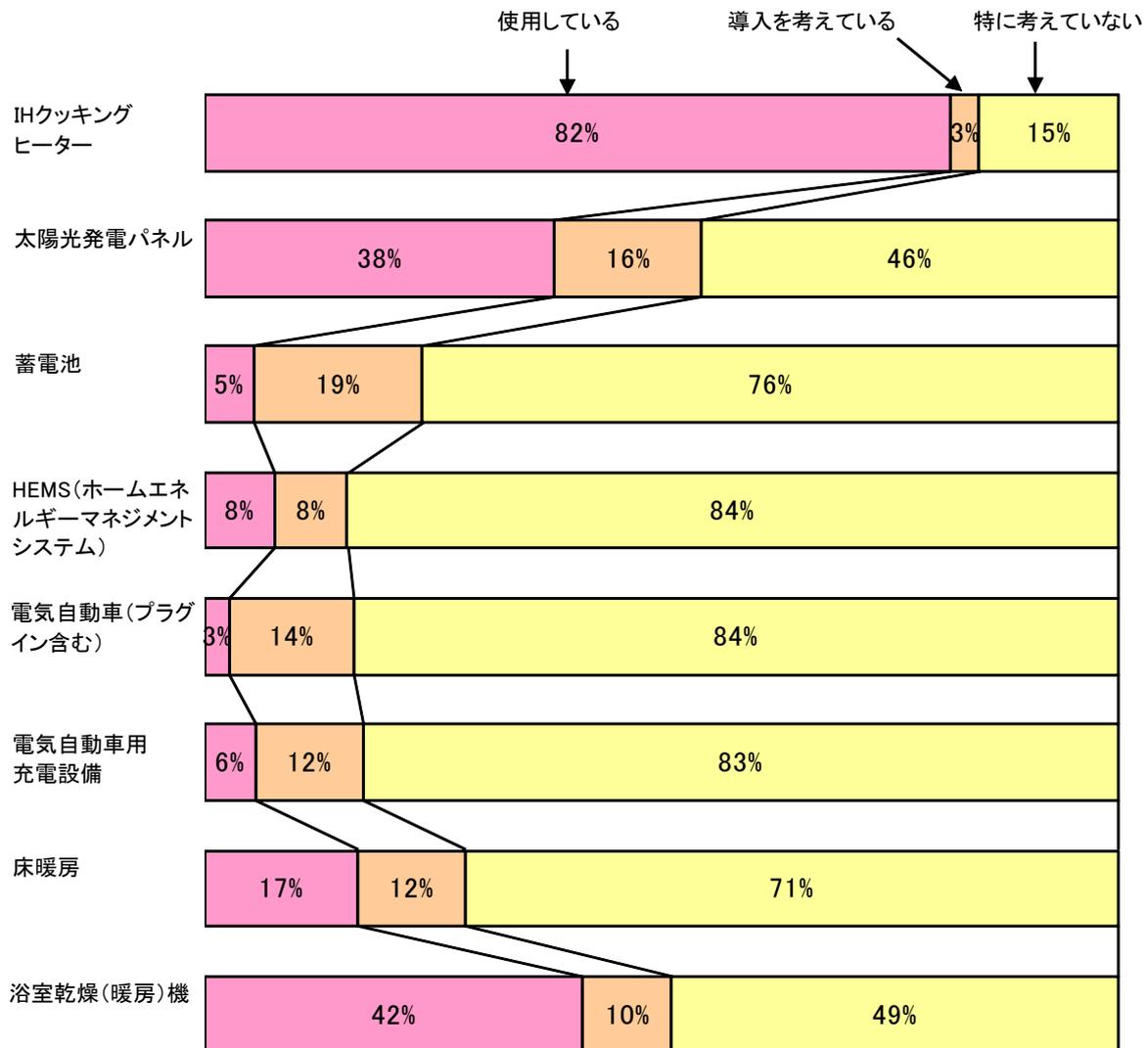
N=518 SA



●「知っている」人が 43%と半数を下回った。58%の人が「知らなかった」と回答しており、まだ十分に知られていないことがわかった。

Q14 エコキュート以外でご家庭で使用している、あるいは導入を考えている機器・設備はありますか。

N=518 SA

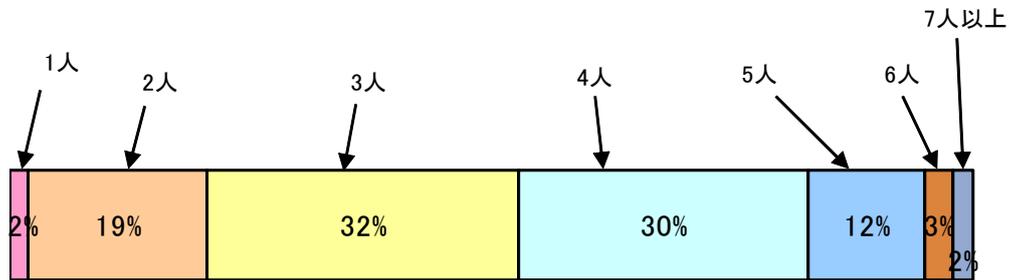


●エコキュート以外で使用している機器としては、IHクッキングヒーター82%、浴室乾燥(暖房)機 42%、太陽光発電パネル 38%が使用している人の割合が高かった。一方、電気自動車(プラグイン含む) 3%、蓄電池 5%、電気自動車用充電設備 6%は使用している人の割合が低かった。しかし、蓄電池

や電気自動車は導入を考えている人の割合がそれぞれ 19%、14%と比較的高く、エコキュート購入者が蓄電池や電気自動車に興味を示していることがわかった。

Q15現在、何人でお住まいですか？※ご自身を含めてお答えください。

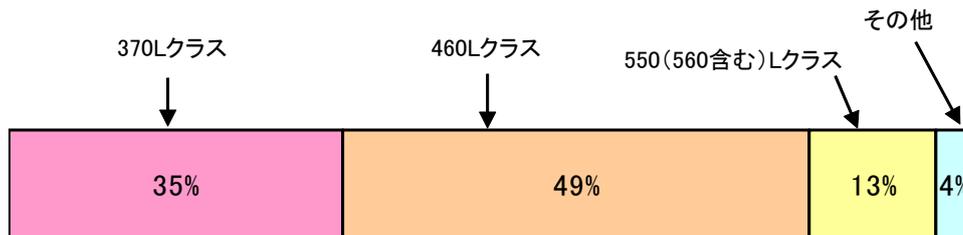
N=518 SA



●家族人数は「3人」32%、「4人」30%、「2人」19%、「5人」12%の順に多かった。

Q16ご家庭でお使いのエコキュートのタンク容量はどのクラスですか。あてはまるものをひとつお選びください。

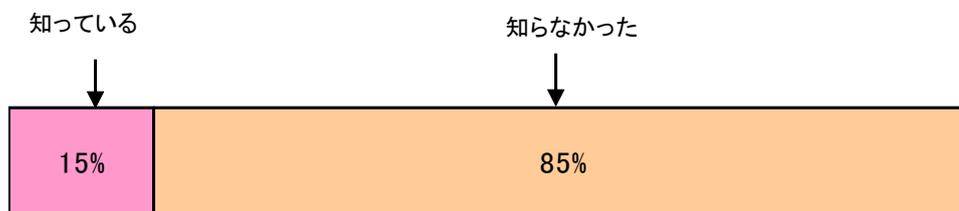
N=518 SA



●タンク容量は「460Lクラス」49%、「370Lクラス」35%、「550(560含む)Lクラス」13%の順に多かった。

Q19エコキュートは省エネ法トップランナー制度の対象製品であることをご存知ですか。

N=518 SA



●「知っている」人は 15%と少なかった。85%の人が「知らなかった」と回答しており、まだ十分に知られていないことがわかった。

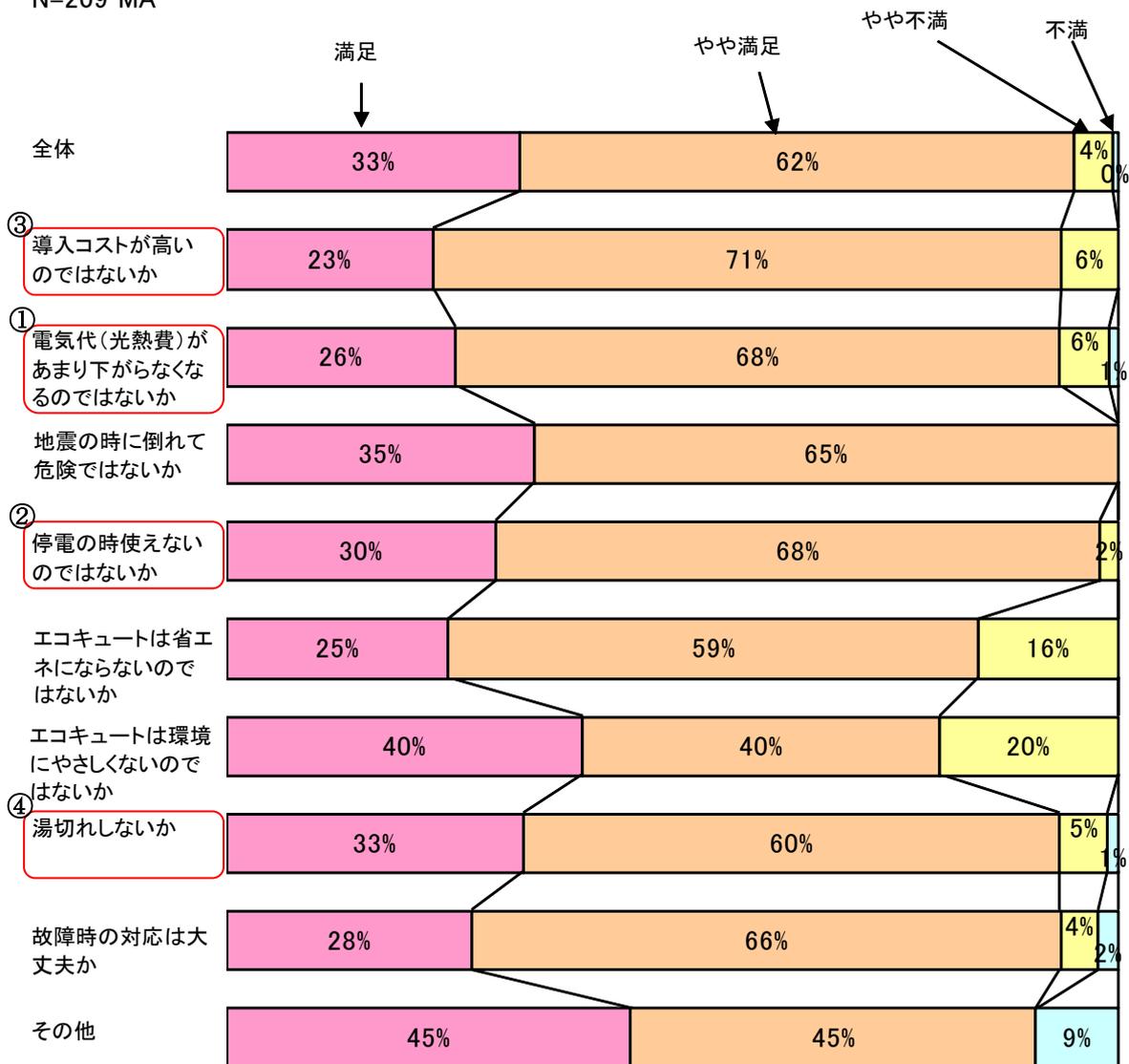
以上が単純集計結果である。

次にそれぞれの回答に関する関連集計(クロス集計)結果を次ページに示す。

5-3 関連集計結果(クロス集計結果)

Q6不安の具体的内容とQ8購入して満足していますかとの関連

N=209 MA



①不安の内容で最も多かったのは「電気代(光熱費)があまり下がらなくなるのではないかと」52%であり、そう答えた人の満足度は「満足」26%、「やや満足」68%、であり計 94%の人が満足していた。

②不安の内容で 2 番目に多かったのは「停電の時使えないのではないかと」51%であり、そう答えた人の購入の満足度は、「満足」30%、「やや満足」68%、であり計 98%の人が満足していた。

③不安の 3 番目は「導入コストが高いのではないかと」46%であり、そう答えた人の満足度は「満足」23%、「やや満足」71%、であり計 94%の人が満足していた。

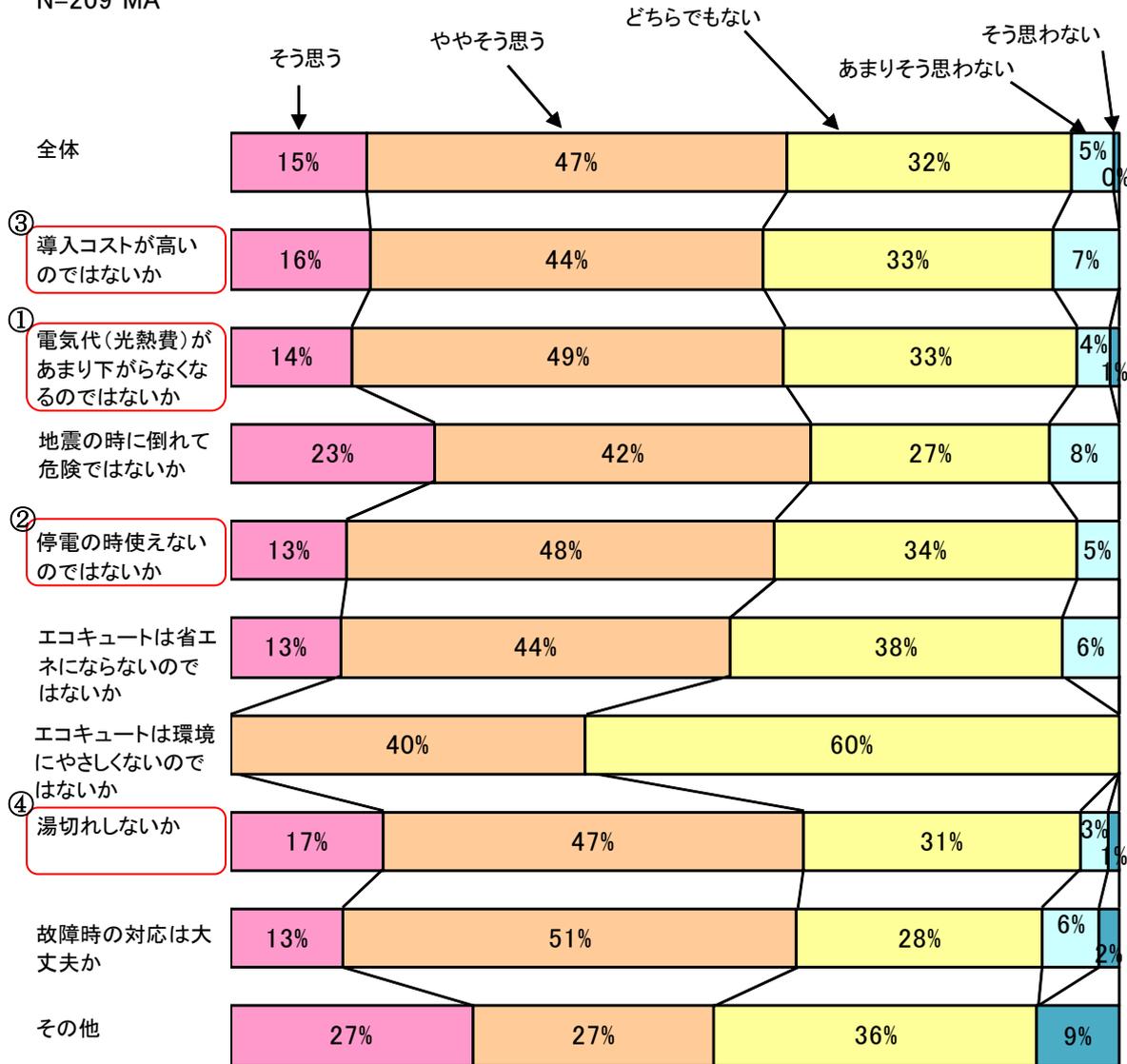
④不安の 4 番目は「湯切れしないかと」45%であり、そう答えた人の満足度は「満足」33%、「やや満足」60%、であり計 93%の人が満足していた。

●購入時に不安に思った人も購入後は問題なく、「満足」「やや満足」が 90%以上と非常に高いことがわかった。

●地震の時に倒れて危険や停電時に使用できないことを不安に思っていた人は購入した後の満足度が高かった。環境にやさしい商品でないことを不安に思っていた人は満足度が比較的低かった。

Q6不安の具体的内容とQ10エコキュートを知人に勧めようと思うかとの関連

N=209 MA



①不安の内容で最も多かったのは「電気代(光熱費)があまり下がらなくなるのではないかと」52%であり、そのうち知人に勧めようと思うは「そう思う」14%、「ややそう思うが」49%であり合わせて 64%の人が知人に勧めようと思うと答えた。

②不安の内容で 2 番目に多かったのは「停電の時使えないのではないかと」51%であり、そのうち知人に勧めようと思うは「そう思う」13%、「ややそう思うが」48%であり合わせて 61%の人が知人に勧めようと思うと答えた。

③不安の 3 番目は「導入コストが高いのではないかと」46%であり、そのうち知人に勧めようと思うは「そう思う」16%、「ややそう思うが」44%であり合わせて 60%の人が知人に勧めようと思うと答えた。

④不安の 4 番目は「湯切れしないかと」45%であり、そのうち知人に勧めようと思うは「そう思う」17%、「ややそう思うが」47%であり合わせて 64%の人が知人に勧めようと思うと答えた。

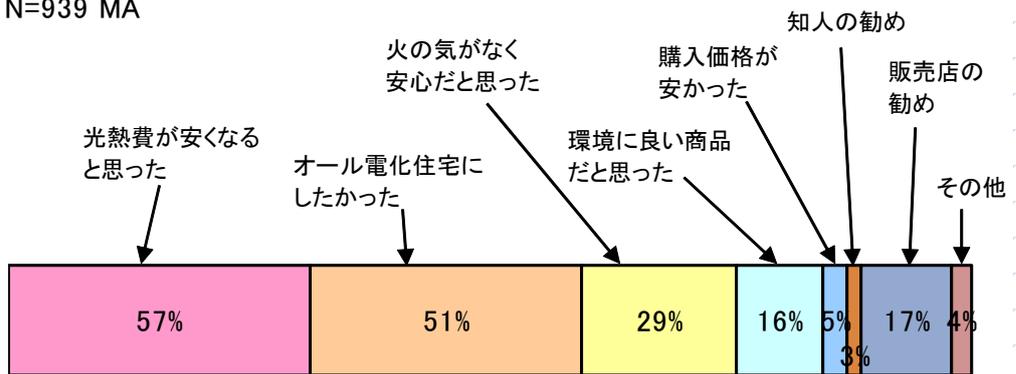
●購入時に不安に思ったことに対し、約 60%の人が知人にも勧めようと思っていると回答しており、購入後の満足度が非常に高いことがわかった。

●地震の時に倒れて危険や湯切れを不安に思って購入した人は知人に勧めようと考えている人が多かった。環境にやさしい商品でないと不安に思って購入した人は知人に勧めようと考えている人が少なかった。

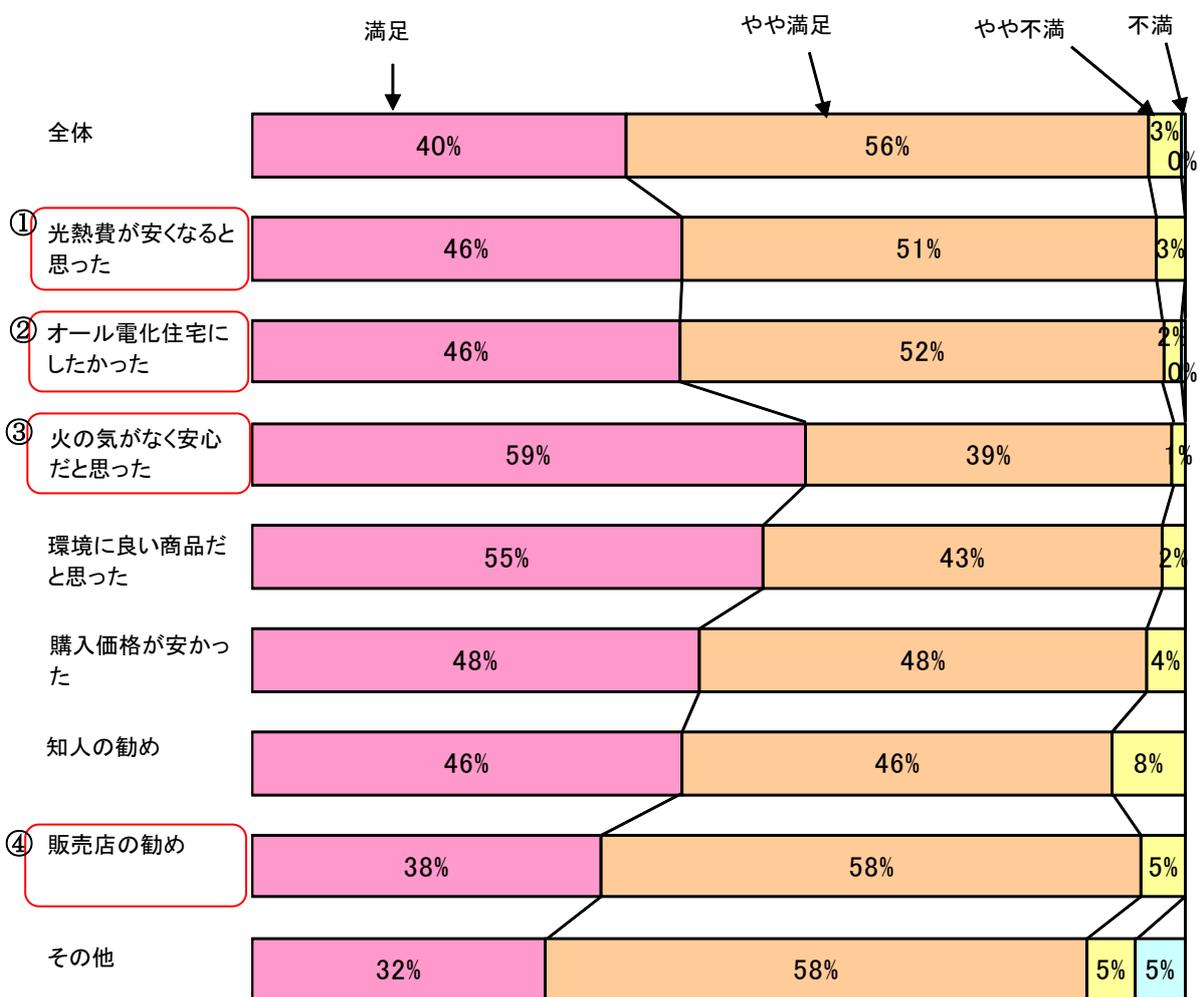
Q7購入の決め手とQ8購入して満足との関連

Q7 購入の
決め手

N=939 MA



N=518 SA

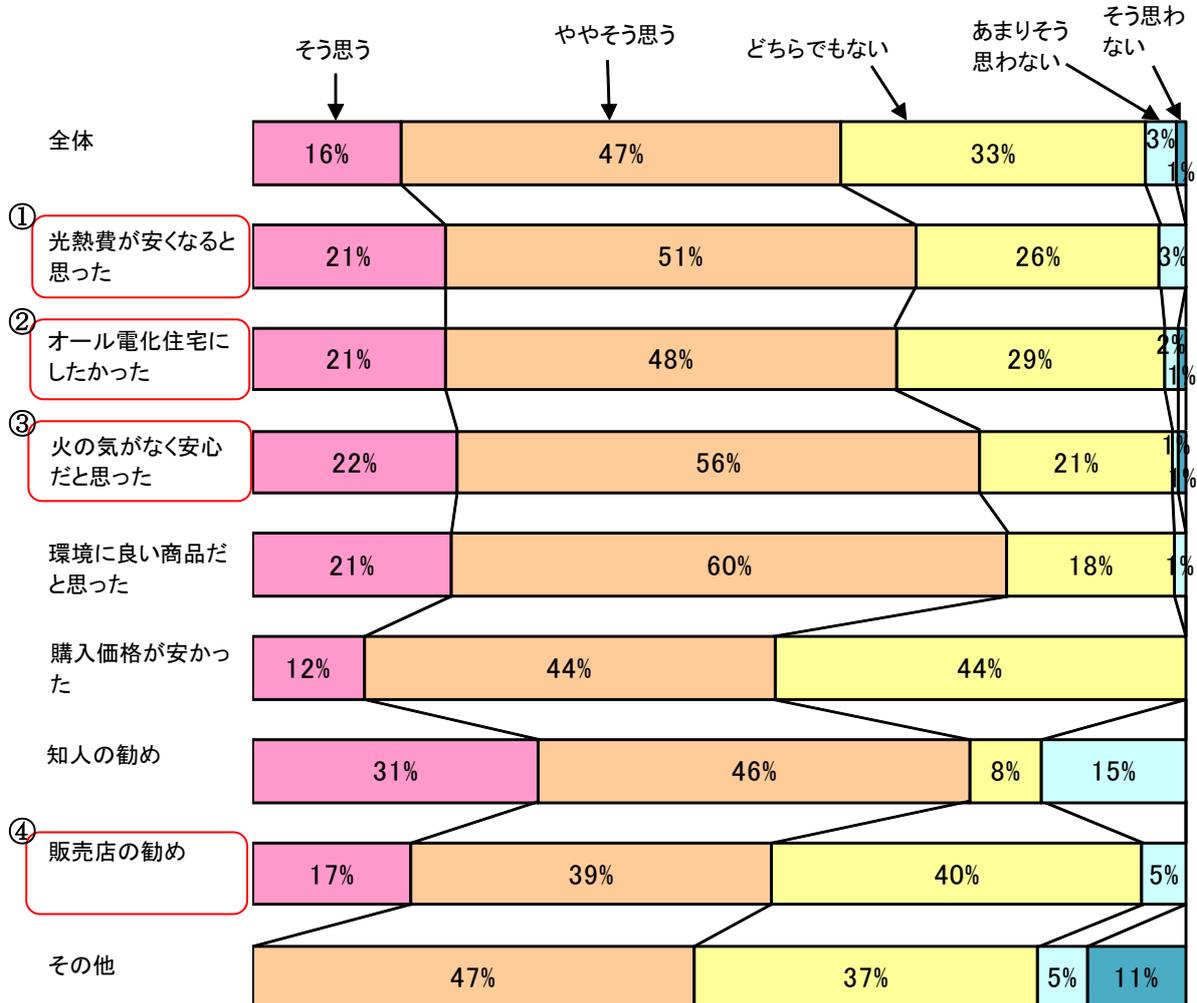


- ①購入の決め手の内で最も多かったのは「光熱費が安くなると思った」57%であり、そう答えた人の満足度は「満足」46%、「やや満足」51%で計 97%の人が満足していることがわかった。
- ②購入の決め手のうち 2 番目に多かったのは「オール電化住宅にしたかった」51%であり、そう答えた人の満足度は「満足」46%、「やや満足」52%で計 98%の人が満足していることがわかった。
- ③購入の決め手のうち 3 番目に多かったのは「火の気がなく安心だと思った」29%であり、そう答えた人の満足度は「満足」59%、「やや満足」39%で計 98%の人が満足していることがわかった。
- ④購入の決め手のうち 4 番目に多かったのは「販売店の勧め」17%であり、そう答えた人の満足度は「満足」38%「やや満足」58%で計 96%の人が満足していることがわかった。

- 特に「火の気がなく安心だと思った」人と「環境に良い商品だと思った」人の満足度が高かった。
- 2年前と比較しても全体的に大きな変化は見られなかった。

Q7購入の決め手とQ10知人に勧めようと思うかとの関連

N=518 SA

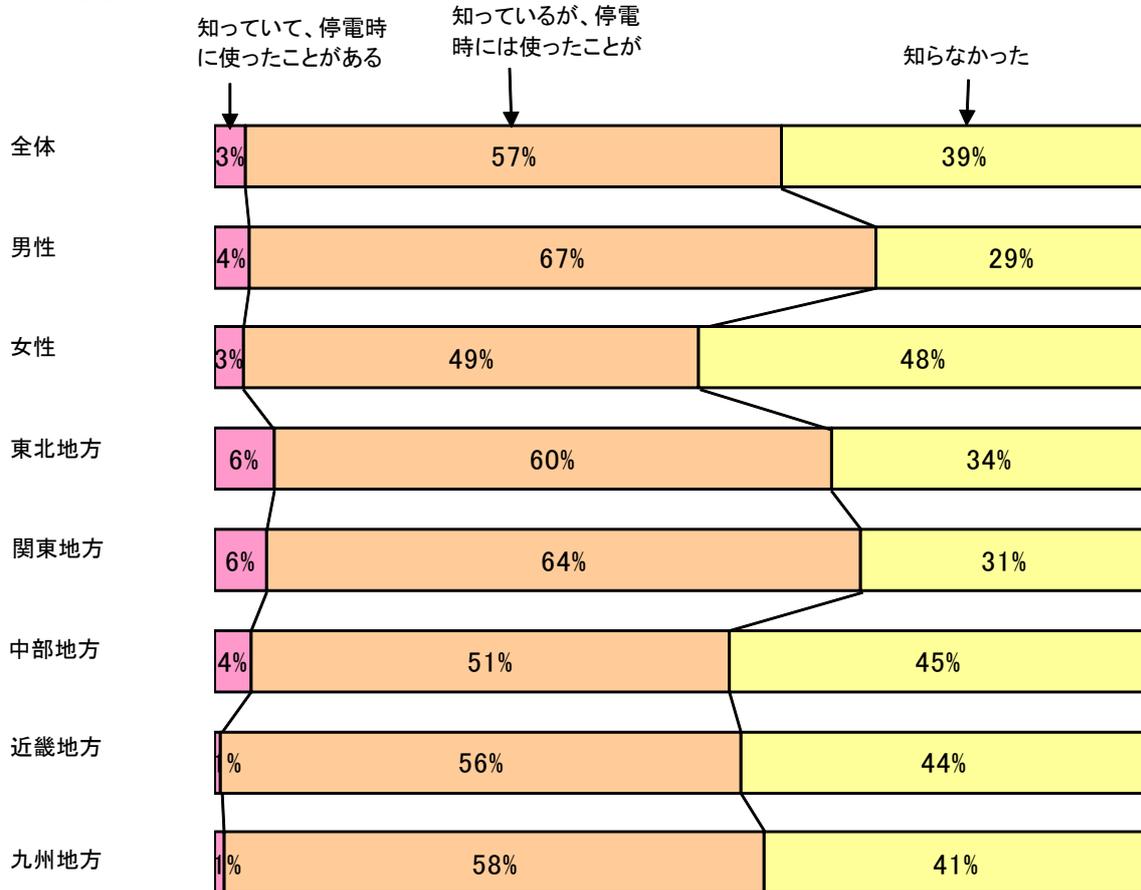


- ①購入の決め手の内で最も多かったのは「光熱費が安くなると思った」57%であり、そのうち知人に勧めようと思うかでは「そう思う」21%、「ややそう」思う 51%で、計 72%の人が知人に勧めようと思うと答えた。
 - ②購入の決め手のうち 2 番目に多かったのは「オール電化住宅にしたかった」51%であり、そのうち知人に勧めようと思うかでは「そう」思う 21%、「ややそう思う」48%で計 69%の人が知人に勧めようと思うと答えた。
 - ③購入の決め手のうち 3 番目に多かったのは「火の気がなく安心だと思った」29%であり、そのうち知人に勧めようと思うかでは「そう思う」22%、「ややそう思う」56%で計 78%の人が知人に勧めようと思うと答えた。
 - ④購入の決め手のうち 4 番目に多かったのは「販売店の勧め」17%であり、そのうち知人に勧めようと思うかでは「そう思う」17%、「ややそう思う」39%で計 56%の人が知人に勧めようと思うと答えた。
- 全体で約 63%の人が知人に勧めようと思うと答えた。購入時に期待したものが概ね満たされており、期待通りの商品であったことが窺われる。
 - 購入の決め手で多かった「光熱費が安くなると思った」「オール電化住宅にしたかった」「火の気がな

く安心だと思った」については知人に勧めようと思う人が多かったが、「販売店の勧め」と答えた人のうち知人に勧めようと思う人は 56%と比較的低かった。なお、2 年前の調査でも同様の傾向がみられた。主体的にエコキュートを選んでもらうことが高い満足度に繋がることがわかった。

Q11 水道が利用できれば停電時でも使えることをご存知でしたかの男性女性別と地域別の関連

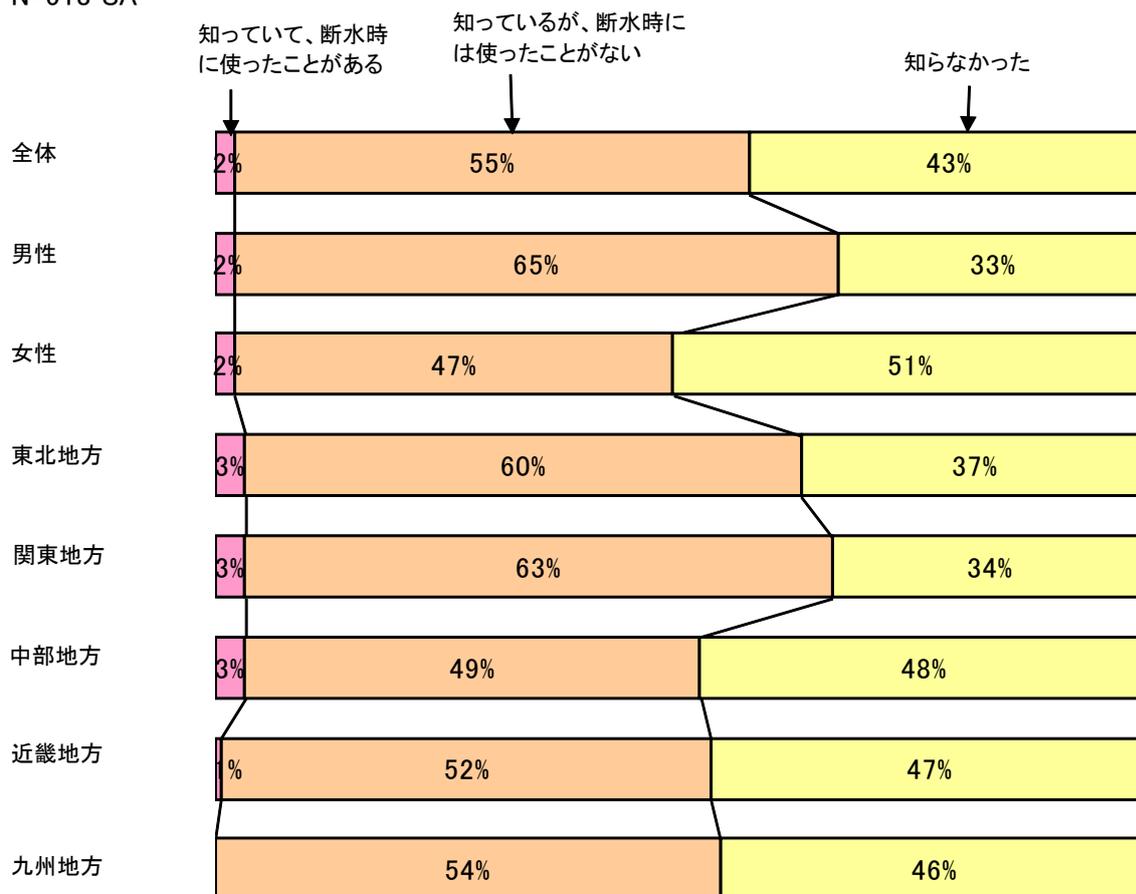
N=518 SA



- 「水道が利用出来れば停電時でも湯が使えることを知っていたか」の男性、女性別では知っていた男性 71%女性 52%と差があった。
- 地域別では知っていて使ったことがあるが関東地方 6%、東北地方 6%、中部地方 4%であった。関東・東北地方で使ったことがある人が僅かに多かったのは震災と計画停電等の影響と考えられる。
- 知っていた人は関東地方 70%、東北地方 66%、九州地方 59%、近畿地方 57%、中部地方 55%の順で高かった。
- 知らなかった人は中部地方 45%、近畿地方 44%が比較的高く、東北地方 34%、関東地方 31%が比較的低かった。
- エコキュートの使用者でも本件を知らなかった人は 39%であった。2 年前の調査より若干減少してはいるが、特に女性に向けて、或いは中部・近畿・九州地方での PR が必要であることがわかった。

Q12タンクのお湯は断水時非常用水として使えることをご存知でしたかの男性女性別と地域別の関連

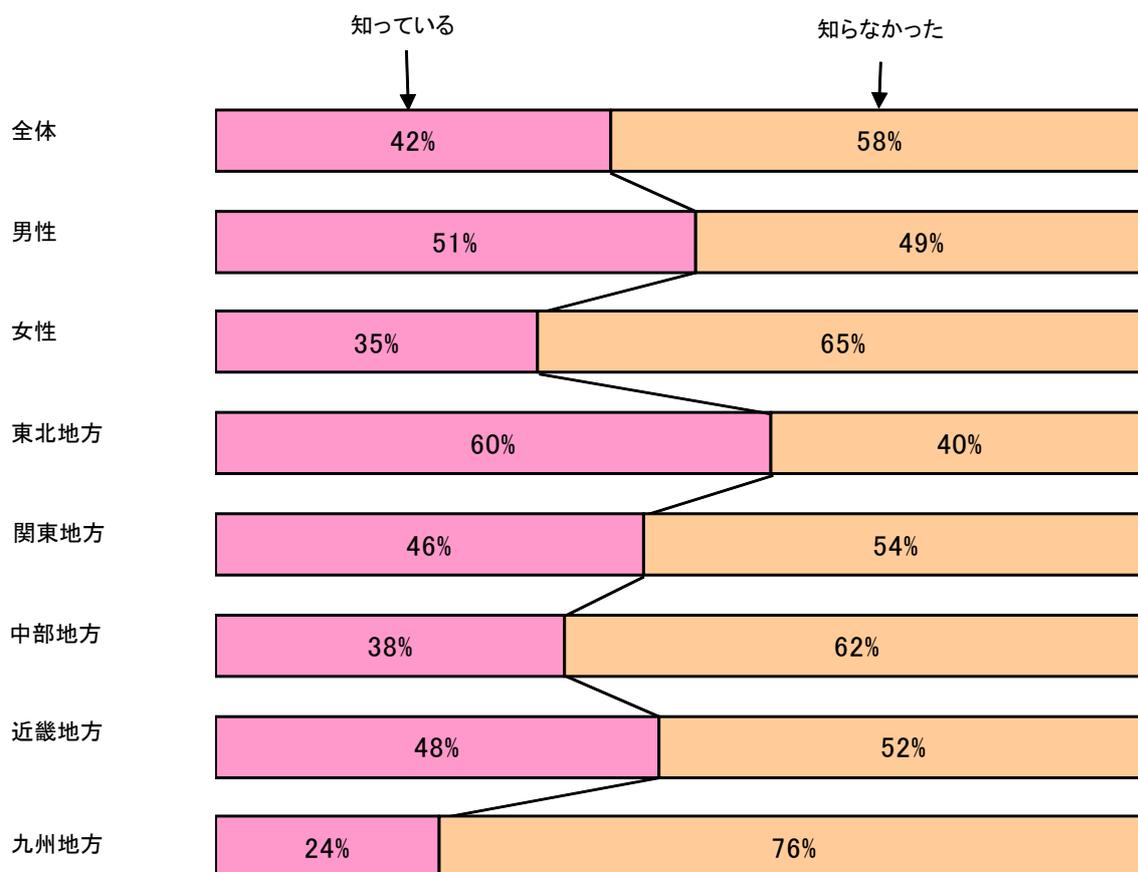
N=518 SA



- 「タンクのお湯は断水時非常用水として使えることを知っていたか」の男性、女性別では知っていた男性 67%、女性が 49%と差があった。
- 地域別では知っていて使ったことがあるが東北地方 3%、関東地方 3%、中部地方 3%であった。関東・東北地方で使ったことがある人が僅かに多かったのは震災等の影響と考えられる。
- 知っていた人は関東地方 66%、東北地方 63%、九州地方 54%、近畿地方 53%、中部地方 52%の順で高かった。
- 知らなかった人は中部地方 48%、近畿地方 47%で比較的高く、東北地方 37%、関東地方 34%で比較的低かった。
- エコキュートの使用者でも本件を知らなかった人は 43%であった。これは 2 年前の調査からあまり変わっていない。特に女性に向けて、或いは中部・近畿・九州地方での更なる PR が必要であることがわかった。

Q13東日本大震災等ではガスより電気の復旧が早かったことをご存知の男性女性別と地域別との関連

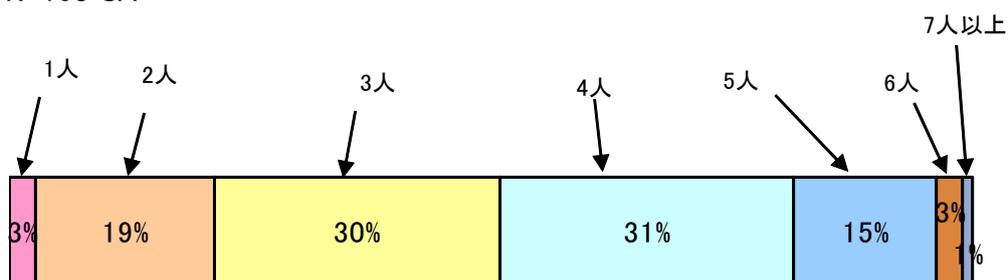
N=518 SA



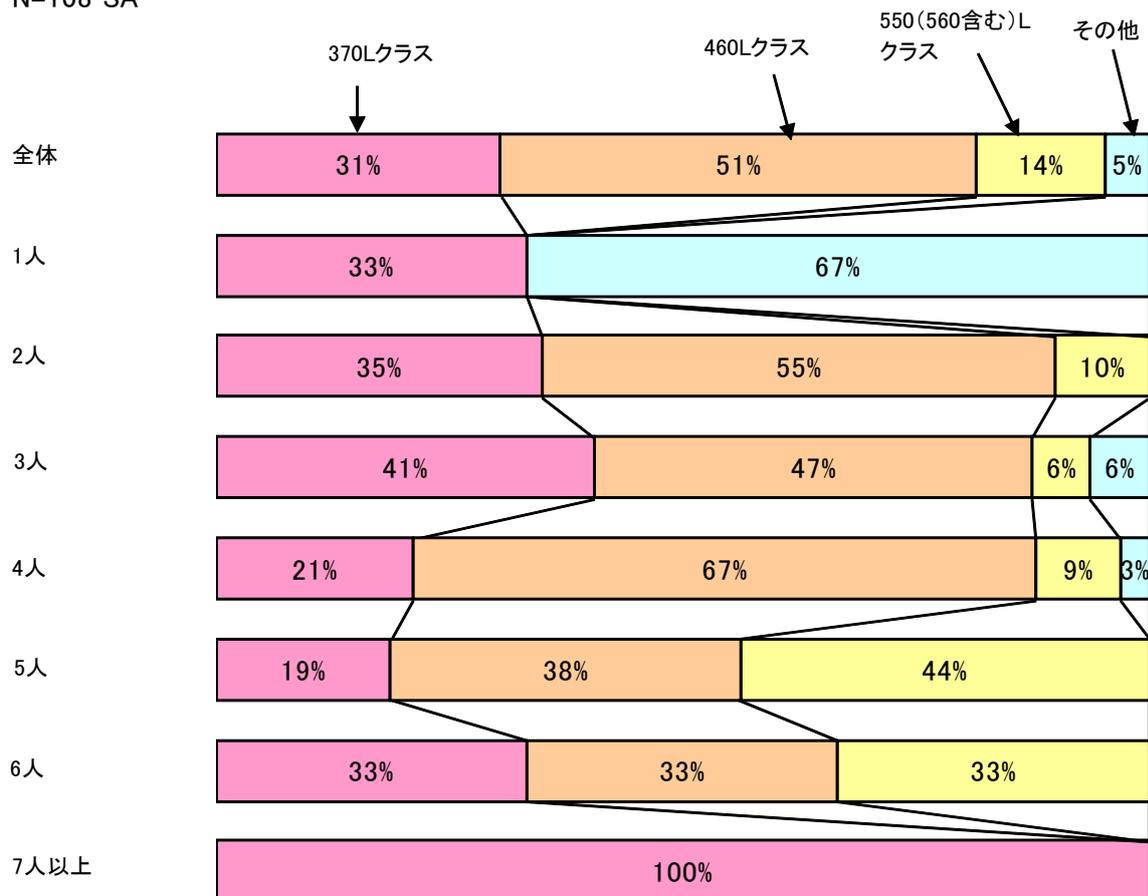
- 「ガスより電気の復旧が早いことを知っていたか」の男性、女性別では知っていた男性 51%、女性が 35%と差があった。
- 地域別で知っていたは東北地方 60%、近畿地方 48%、関東地方 46%、中部地方 38%の順で高かった。東日本大震災や阪神淡路大震災の被災地での知名度が高くなっている。
- 知らなかった人は九州地方 76%、中部地方 62%で高く、近畿地方 52%、東北地方 40%で比較的 low かった。
- エコキュートの使用者でも本件を知らなかった人は 58%であった。前回調査から大きく増加しているがこれは質問の仕方が影響していると思われる。いずれにしても更なる PR が必要であり、特に女性に向けて、或いは九州・中部地方での PR が必要であることがわかった。

Q15家族人数とQ16タンク容量との関連

Q15家族人数 N=108 SA



N=108 SA



- 家族人数は「3人」32%、「4人」30%、「2人」19%、「5人」12%の順に多かった。
- 2人家族のタンク容量は「370Lクラス」46%、「460Lクラス」41%、「550Lクラス」8%であった。また、3人家族のタンク容量は「370Lクラス」39%、「460Lクラス」50%、「550Lクラス」7%であった。2～3人家族 41～50%で「460Lクラス」が選ばれており(460Lクラスの推奨人数は4～7人)、大きい容量が選ばれるケースが多いことがわかった。
- また、2～4人家族でも7～14%で「550Lクラス」が選ばれており(550Lクラスの推奨人数は5～8人)、更に大きい容量が選ばれるケースもあることがわかった。
- 必要以上に大きな容量が選ばれているケースが見られるので、適正な容量が選ばれるように消費者や販売店に対する啓発が必要である。

6. 結論

[購入の背景](Q1～Q3)

- (1)購入背景を見ると「新築住宅を購入したら付いてきた」人は22%であった。この22%の人が意図せず購入したものとすると残り78%の人がエコキュートを自発的に購入したことになる。2年前の調査も今回も約8割の人がエコキュートを自発的に購入していることがわかった。
- (2)新築既築は「新築」が53%、「既築(リフォーム)」が47%とほぼ半々で2年前の調査と比べあまり変化がなかった。

[購入のきっかけ](Q4～Q6)

- (3)購入のきっかけは「オール電化にしたから」61%、「販売店の勧め」21%、「故障・老朽化」16%の順に多かった。オール電化住宅を選択したことでエコキュートの検討のきっかけとなった人は2年前も今回もほぼ6

割であり、引き続きオール電化住宅への根強い人気エコキュートを支えていることがわかった。

- (4)購入の際に不安があったか聞いたところ、「明確にあった」8%、「何となくあった」32%で、計 40%の人が不安があったと答えた。不安があった人にその具体的内容を聞いたところ、「電気代があまり下がらなくなるのではないか」52%、「停電の時使えないのではないか」51%、「導入コストが高いのではないか」46%、「湯切れしないか」45%の順に多かった。一方、不安があった人の購入後の満足度を見ると、「満足」33%、「やや満足」62%と、95%の人が満足していた。つまり購入前に不安があった人も購入後は概ね満足していることがわかった。購入前の不安は購入後には解消されていると推察される。

[購入の決め手](Q7)

- (5)購入の決め手としては、「光熱費が安くなる」57%、「オール電化にしたい」51%、「火の気がなく安心」29%が3大決め手であることがわかった。2年前と今回では決め手に大きな変化はなかった。

[購入後の満足度](Q8～Q10)

- (6)購入して満足しているか聞いたところ、「満足」40%、「やや満足」56%で、計 96%の人が満足していると答えた。エコキュートに対する満足度は2年前に比べ大きな変化はなく引き続き非常に高いことがわかった。
- (7)項目別の満足度を見てみると、「購入時の価格」が「満足」「やや満足」計 70%、「湯が出るまでの時間」が「満足」「やや満足」計 74%、「取扱い説明書のわかり易さ」が「満足」「やや満足」計 78%と、他と比べ満足度が若干低かった。今後の課題である。

[災害時等にも役立つことの認知度](Q11～Q13)

- (8)「停電時でもタンクのお湯が使用できる」ことについては「使ったことがある」人は 4%にすぎなかったが「知っている」人は半数以上の 61%であった。知っている人の割合は2年前から僅かに増加した。
- (9)「断水時に非常用水として利用できること」は「使ったことがある」人は僅か 2%に留まったが「知っている」人は 57%に上った。知っている人の割合は2年前と大きく変わらなかった。
- (10)「都市ガスと電気では電気の方が復旧が早かった」ことは「知っている」人が 43%と半数を下回った。知っている人の割合が2年前から大きく減少したが、これは質問文に「阪神淡路大震災」や「新潟県中越地震」と細かく記載したためであると推察される。

[エコキュート以外で使用・検討している機器・設備](Q14)

- (11)エコキュート以外でご家庭で使用している、あるいは導入を考えている機器・設備について聞いたところ、使用している人は「IHクッキングヒーター」82%、「浴室乾燥(暖房)機」42%、「太陽光発電パネル」38%の順に多かった。また、導入を考えている人は「蓄電池」19%、「太陽光発電パネル」16%、「電気自動車」14%の順に多かった。「蓄電池」や「電気自動車」は導入を考えている人の割合が比較的高く、エコキュート購入者が蓄電池や電気自動車に興味を示していることがわかった。

[家族人数・タンク容量](Q15～Q16)

- (12)家族人数とタンク容量については、家族人数は「2人」19%、「3人」32%、「4人」30%、「5人」12%、タンク容量は「370Lクラス」35%、「460Lクラス」49%、「550(560含む)Lクラス」13%であった。なお、2～3人家族の41～50%で「460Lクラス」が選ばれており、大きい容量が選ばれるケースが多いことがわかった。また、2～4人家族でも7～14%で「550Lクラス」が選ばれており、更に大きい容量が選ばれるケースもあることがわかった。適正な容量が選ばれるように消費者や販売店に対する啓発が必要であることがわかった。

[省エネ法対象機器認知度](Q19)

- (13)省エネ法対象機器としての認知度を聞いたところ、「エコキュートは省エネ法トップランナー制度の対象製品である」ことを「知っている」人は 15%と少なかった。85%の人が「知らなかった」と回答しており、まだ十分に知られていないことがわかった。

[まとめ]

今回の調査で、エコキュートの購入はきっかけの部分でオール電化住宅に支えられていることが再確認で

きた。今後住宅の省エネ化が求められる中、省エネ性に優れた電化住宅等の更なる普及が期待できるが、それと共にエコキュートも普及の伸びが期待できることがわかった。

また、実際にエコキュートを購入いただいたお客さまの満足度は2年前の調査と同様に今回も95%以上と非常に高かった。特に、購入前に不安があった人でも購入後は概ね満足しており、購入後に不安は解消され、期待通りの製品であると感じていただけていることがわかった。一方、検討段階において電気代や湯切れ等に対する不安が未だ大きいことや災害時のメリットが認識されていないことがわかった。これらは今回の調査結果を元に業界一体となって周知活動を行っていくことで解消できるものと思われる。

更に、今回、家族人数やタンク容量等について新たに調査し実態をつかむことができた。今後は消費者や販売店に対して適正なタンク容量の選び方や省エネとなる使い方を啓発していくことで、エコキュートの更なる普及に貢献できるものと思われる。

以上